株式会社フィックスターズ

2026年9月期 決算補足説明資料

2026/11/06

Copyright © Fixstars Corporation.

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

Copyright © Fixstars Corporation.

1

2026年9月期
決算説明

Copyright © Fixstars Corporation.

1-a 2026年9月期 決算発表サマリ

前年同期比で増収・増益を達成するも、業績予想は未達。

Solution事業は堅調に推移する一方、SaaS事業は売上が伸び悩み、先行投資が拡大。

賃上げ等による税負担軽減が寄与し、当期純利益は予想を上回って着地。

売上高	営業利益
10,650百万円	2,901百万円
前期比＋10.7%	前期比＋12.5%

プラス要因

- Solution事業は半導体業界を中心に高速化サービスへの旺盛な需要が継続。
  自動車業界や産業機器向けの需要も底堅く、堅調に推移

マイナス要因

- SaaS事業は「Fixstars Vega」によるAI駆動開発の推進に向けて製品強化に注力する一方、売上成長は鈍化
- GPUインフラへの投資拡大と外部AIサービスの利用料増加によりコスト負担が拡大

Copyright © Fixstars Corporation.

1-b 業績推移

連結損益計算書

大口取引先の製品開発プロジェクト中止に伴う一時的な影響はあったものの、前期比では増収を継続。
利益面では、大幅な賃上げや本社移転に伴う費用増加を吸収し、営業利益は前年同期比で10%超の増益も、
当期純利益は前年同期に子会社の清算に伴う税金負担軽減があった反動や、本社移転関連費用の特別損失計上により微増に留まる。

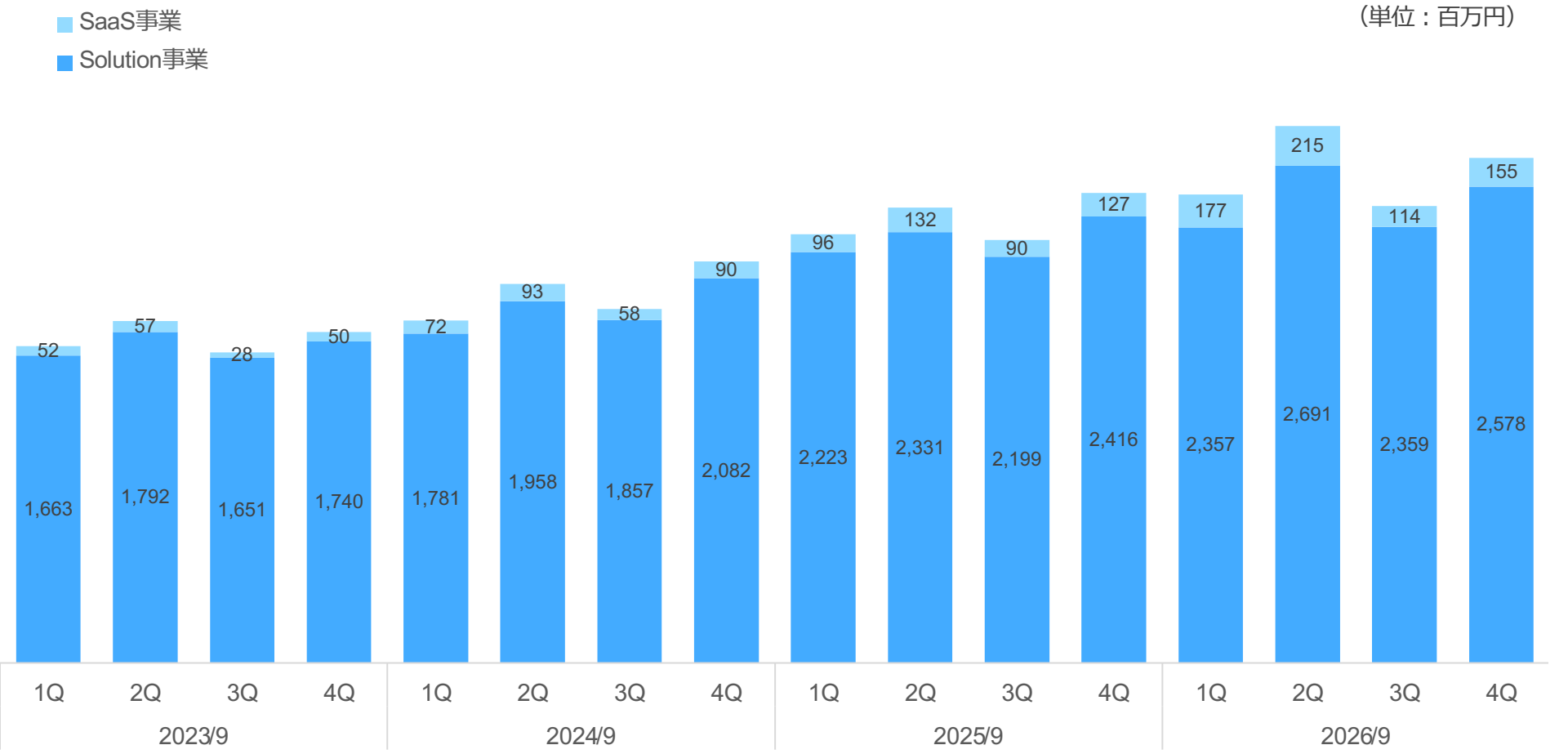
（単位：百万円）	2025年9月期	2026年9月期			
	実績	業績予想	実績	前期比	業績予想比
売上高	9,617	10,800	10,650	+10.7%	▲1.4%
営業利益	2,578	3,100	2,901	+12.5%	▲6.4%
売上高営業利益率	26.8%	28.7%	27.2%	+0.4pt	▲1.5pt
親会社株主に帰属する当期純利益	1,945	1,950	1,955	+0.5%	+0.3%
売上高当期純利益率	20.2%	18.1%	18.4%	▲1.8pt	+0.3pt

Copyright © Fixstars Corporation.

1-c 業績推移

売上高

各事業とも前期比・前年同期比で増収を達成。高速化サービスおよびAI駆動開発関連サービスへの需要は引き続き高水準で推移。
特に半導体業界向けの需要拡大が業績を牽引し、自動車業界と半導体業界の売上構成比の差は縮小傾向。
業界別売上構成比は、自動車約40%、半導体約35%、産業機器約10%、金融約5%、その他約10%。



Copyright © Fixstars Corporation.

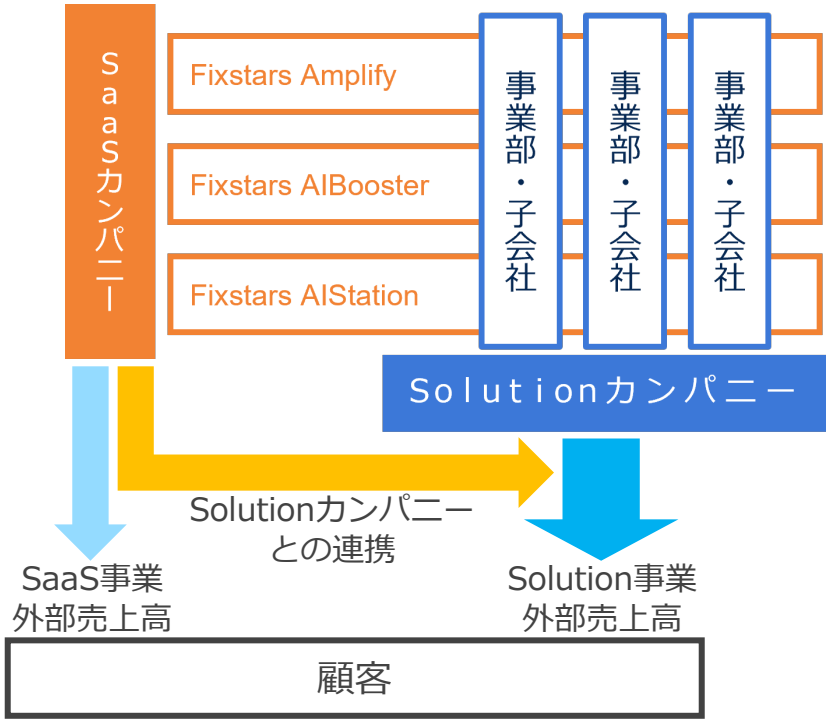
1-d 業績推移

売上高：SaaS関連のストック収益推移

中期経営方針として、ストック型収益の拡大を推進。Solutionカンパニーの各組織と連携し、Fixstars Amplify、Fixstars AIBooster、およびFixstars AIStationを中心としたSaaS製品の導入拡大に注力。ストック型収益は、Fixstars Amplifyの季節変動要因およびFixstars AIBoosterの大口案件終了により3Qに一時的に減少したものの、SaaS製品の導入拡大を通じ、中長期的なストック型収益基盤の強化を図る。

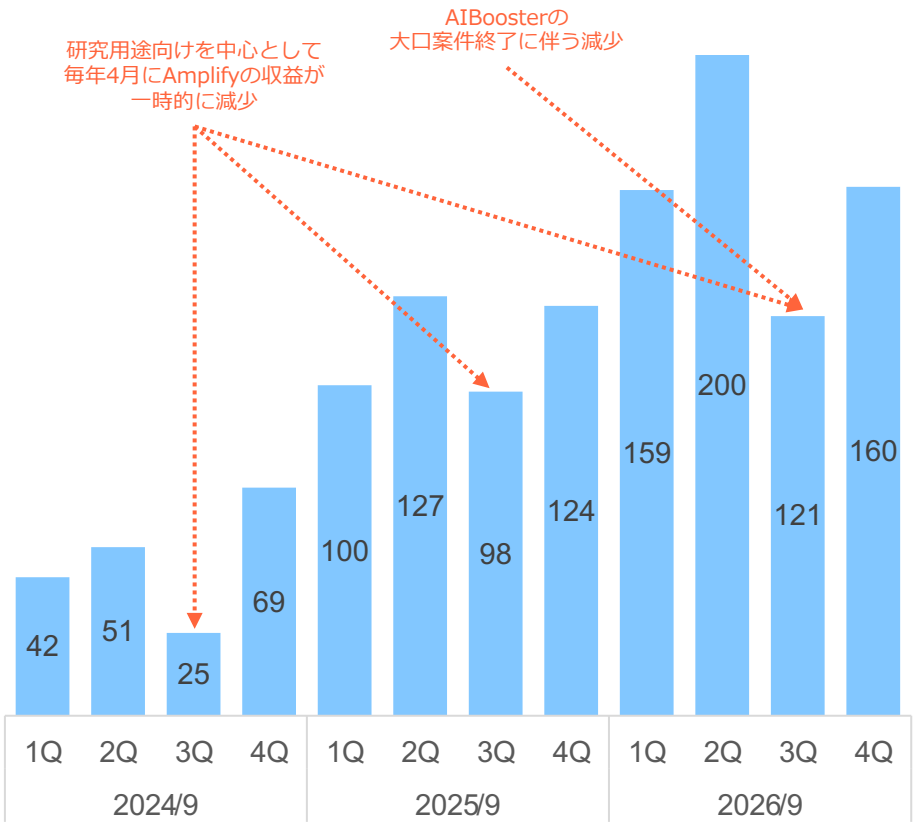
ストック型収益拡大のための施策

Solutionカンパニーの事業部/子会社に
横串でSaaSカンパニーのプロダクトを販売する体制を構築



SaaS関連のストック収益推移

（単位：百万円）

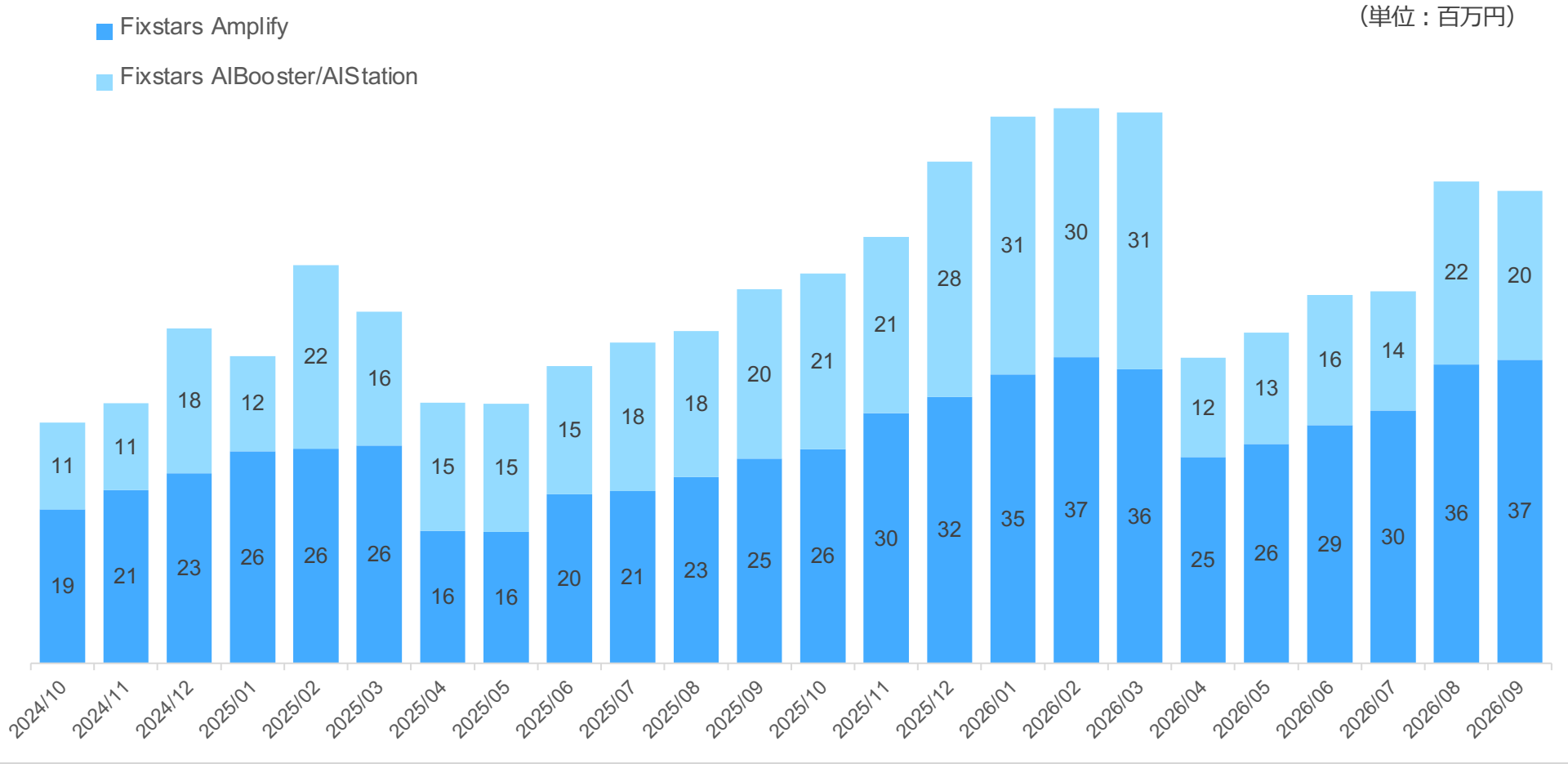


Copyright © Fixstars Corporation.

1-e 業績推移

売上高：SaaS事業のMonthly Revenue (月次売上高)のブレークダウン

Fixstars Amplifyは、季節変動による一時的な減収から回復し、売上が再び増加基調に転換。
Fixstars AIBooster/AIStationは、業界横断的にFixstars AIStationの顧客獲得が進み、売上は回復傾向。



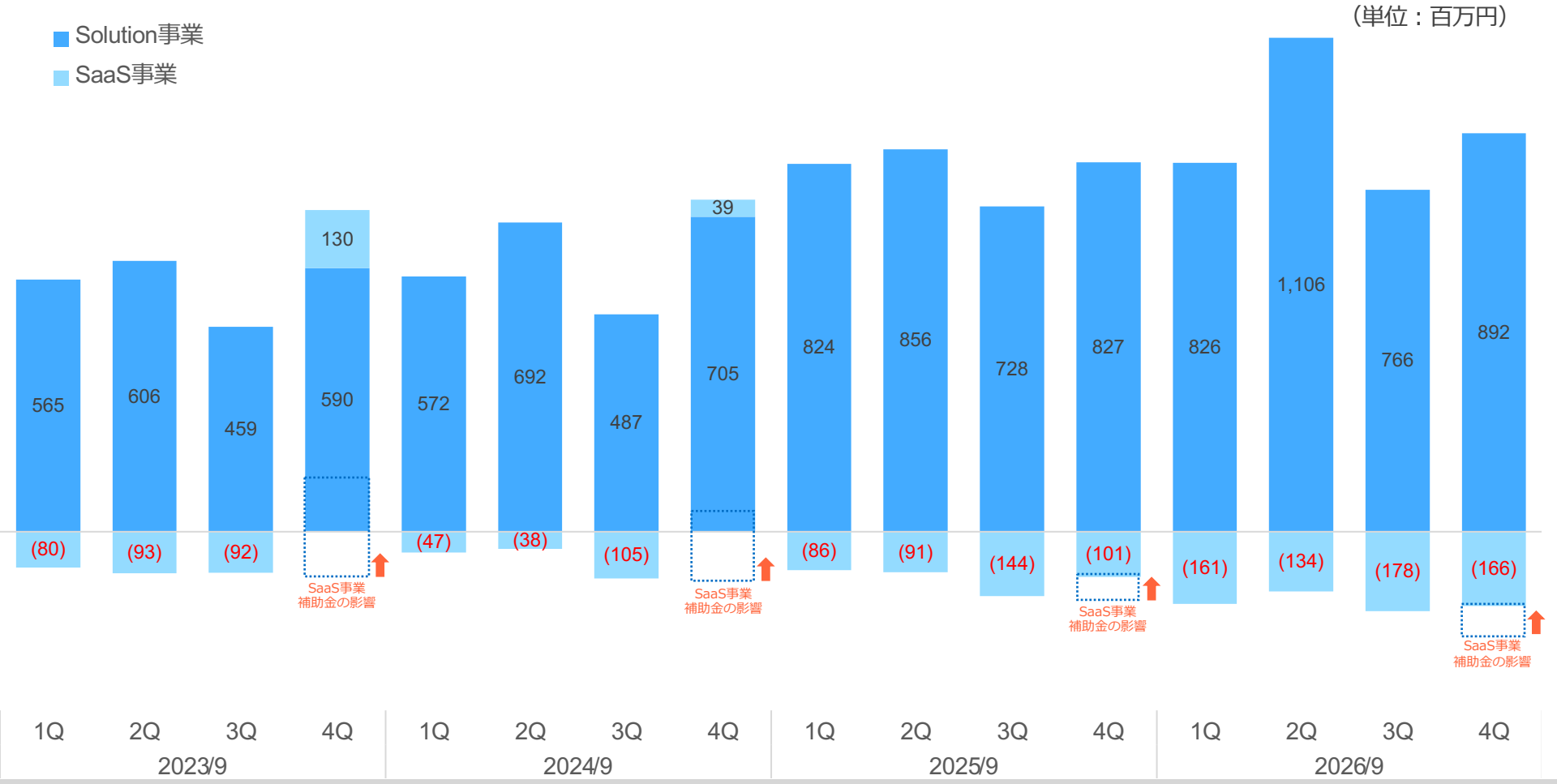
Copyright © Fixstars Corporation.

1-f 業績推移

営業利益*

* 主要なセグメントのみを記載

Solution事業において安定的に収益を獲得し、引き続きSaaS事業へ積極的な投資を実施。
SaaS事業への投下リソース増により、同事業の赤字水準は増加傾向。



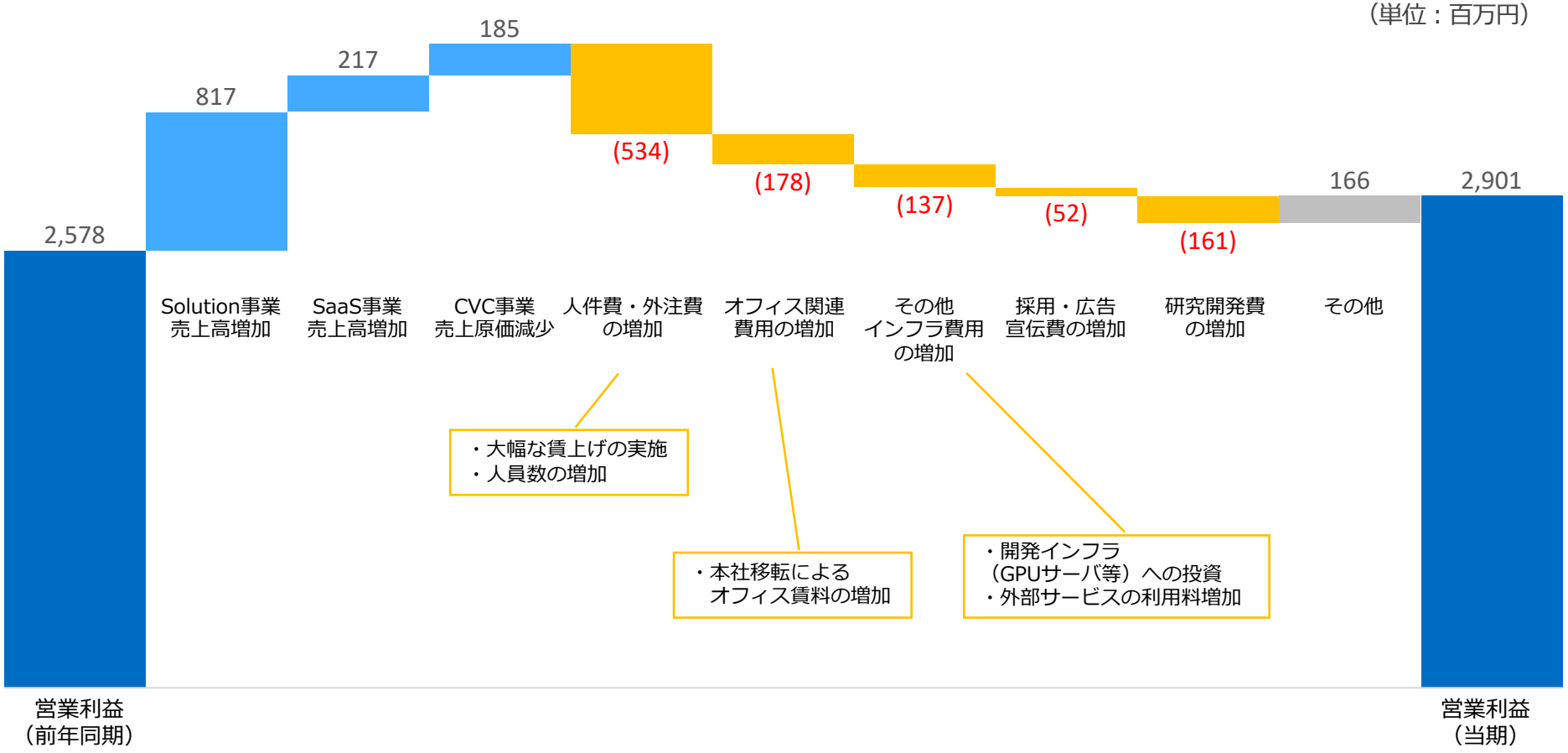
Copyright © Fixstars Corporation.

1-g 業績推移

営業利益の増減要因

当初見込んでいた賃上げや本社移転による費用増を大幅に上回る売上高の増加により、前年同期比で増益。

（単位：百万円）

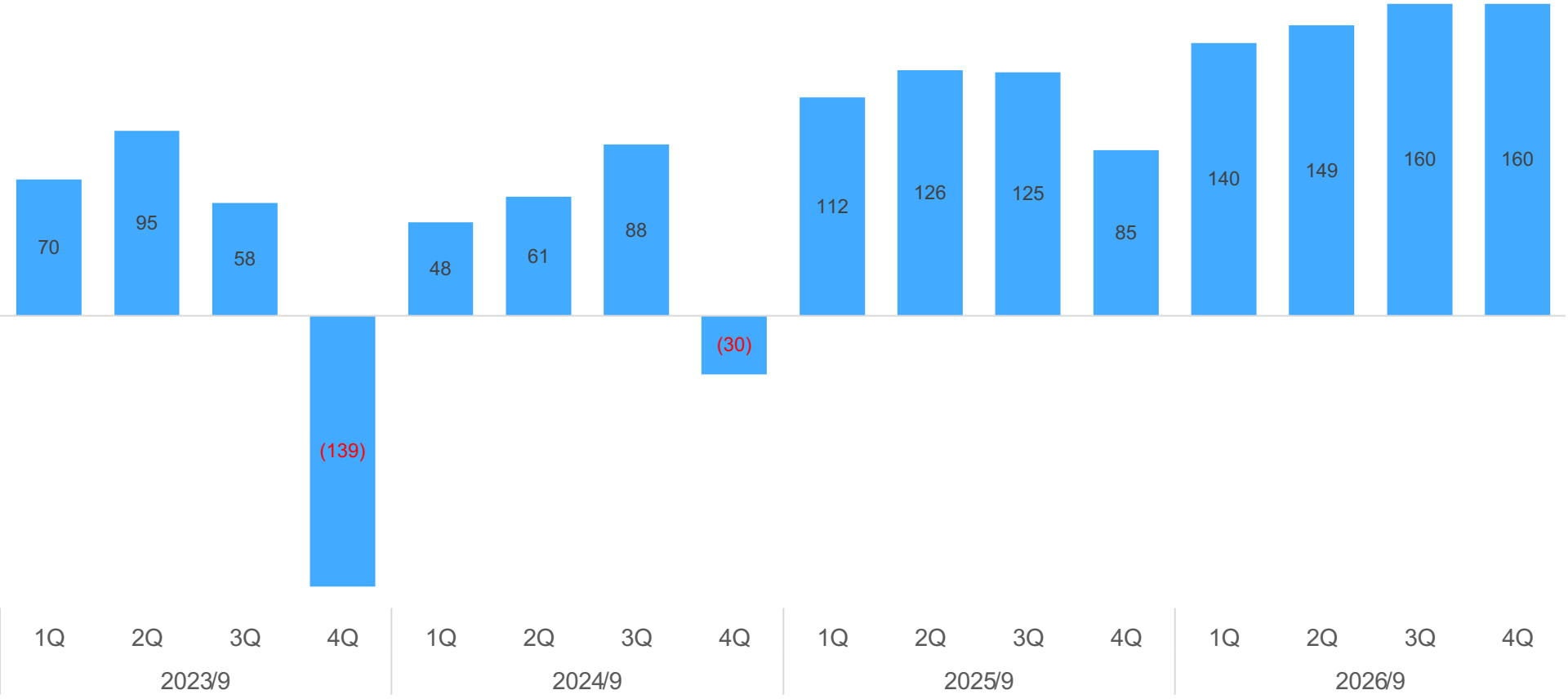


Copyright © Fixstars Corporation.

研究開発費

AI関連事業の研究開発を拡大。量子コンピューティング関連ではNEDO等からの補助金を活用し、費用負担の軽減を図る。
補助金は金額確定後に研究開発費から控除しており、確定した四半期（各期4Q）においては研究開発費の計上額が減少するも、
当4Qにおいては、GPUサーバー投資をはじめとしてそれを上回る研究開発を実施。

（単位：百万円）



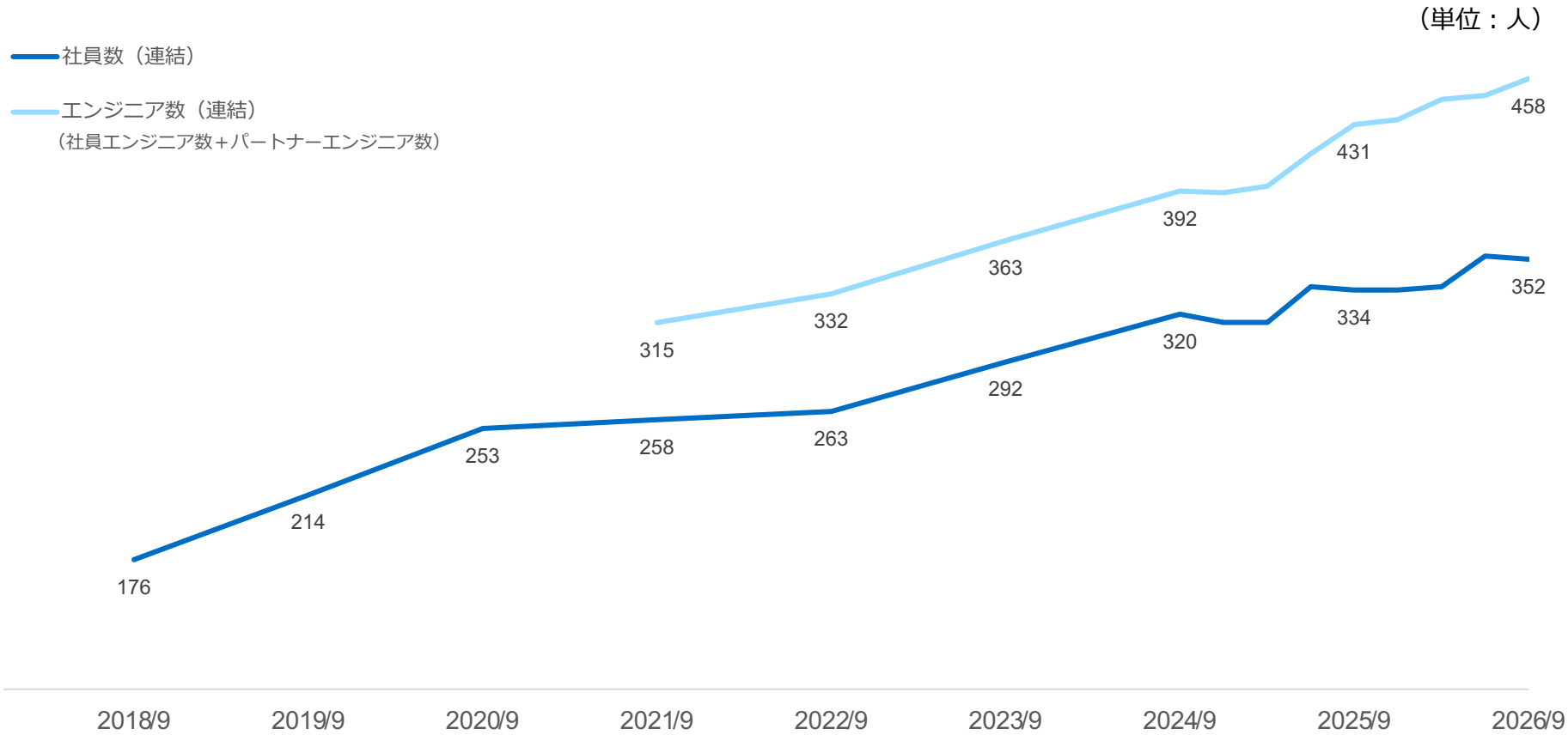
Copyright © Fixstars Corporation.

1-i 業績推移

社員数・エンジニア数*推移

* エンジニア数の集計は2021年9月より
** 2024年9月期までは期末人数のみ集計

前期末比で社員数は＋18名、エンジニア数は＋27名。
今後も積極的な採用を続け、 AI活用による生産性向上と併せて業績拡大を図る。



Copyright © Fixstars Corporation.

2

2027年9月期
通期業績予想

Copyright © Fixstars Corporation.

2-a 2027年9月期 通期業績予想サマリ

- **売上、営業利益とも過去最高を見込む**
  - 売上高　：12,000百万円（前期比＋12.7%）
  - 営業利益：　3,100百万円　（前期比＋6.9%）
  - AI活用の推進により売上高は引き続き10%超の成長を見込む
  - コンテナ型水冷データセンターやAI環境への投資の影響により、控えめな利益成長を想定

- **新中期経営ビジョンの実現に向けて**
  - Solution事業におけるAI活用を推進し、エンジニアの生産性向上と1人あたりの付加価値向上を実現する
  - Fixstars Inference Cloud（共有型の推論環境）、Fixstars Vega（AIエージェント環境）を中心に、ストック型収益を積み上げる

Copyright © Fixstars Corporation.

2027年9月期 通期業績・配当予想

連結損益計算書・配当金

AI投資の加速等により営業利益率は低下も、前期の事務所移転に伴う特別損失の解消により、当期純利益は10%超の増益を見込む。
配当は連結配当性向30%およびDOE（連結株主資本配当率）7%を目安に実施する方針とし、3円の増配を見込む。

（単位：百万円）	2026年9月期	2027年9月期	
	実績	予想	前期比
売上高	10,650	12,000	+12.7%
営業利益	2,901	3,100	+6.9%
売上高営業利益率	27.2%	25.8%	▲1.4pt
親会社株主に帰属する当期純利益	1,955	2,200	+12.5%
売上高当期純利益率	18.4%	18.3%	▲0.1pt
1株当たり当期純利益	60.56円	68.10円	+12.5%
1株当たり配当金	19円*	22円	+3円

* 2026年12月23日開催の定時株主総会にて決議予定

Copyright © Fixstars Corporation.

3

補足資料

Copyright © Fixstars Corporation.

3

補足資料①
個別事業の状況

Copyright © Fixstars Corporation.

3-a 中期経営方針

「速くしてあげる」＋「動かしてあげる」

主力である受託開発（速くしてあげる）を中心としたフロー収益だけでなく、
その動作環境も提供する（動かしてあげる）ことでストック収益を拡大し、より強固なビジネスモデルを構築します。

速くしてあげる　高速化サービス

受託開発を中心としたフロー収益

ソフトウェアを高速化し、顧客の様々なビジネス課題を解決する


機械学習・AI


スマートファクトリー


自動運転


遺伝子解析・画像診断


金融

…

＋

動かしてあげる　クラウド環境

継続的なクラウド利用料収益

高速化したソフトウェアをクラウド環境上で効率的に動かす

動かしてあげる　エッジデバイス

継続的なデバイス販売収益

高速化したソフトウェアが動くエッジAIデバイスを提供する

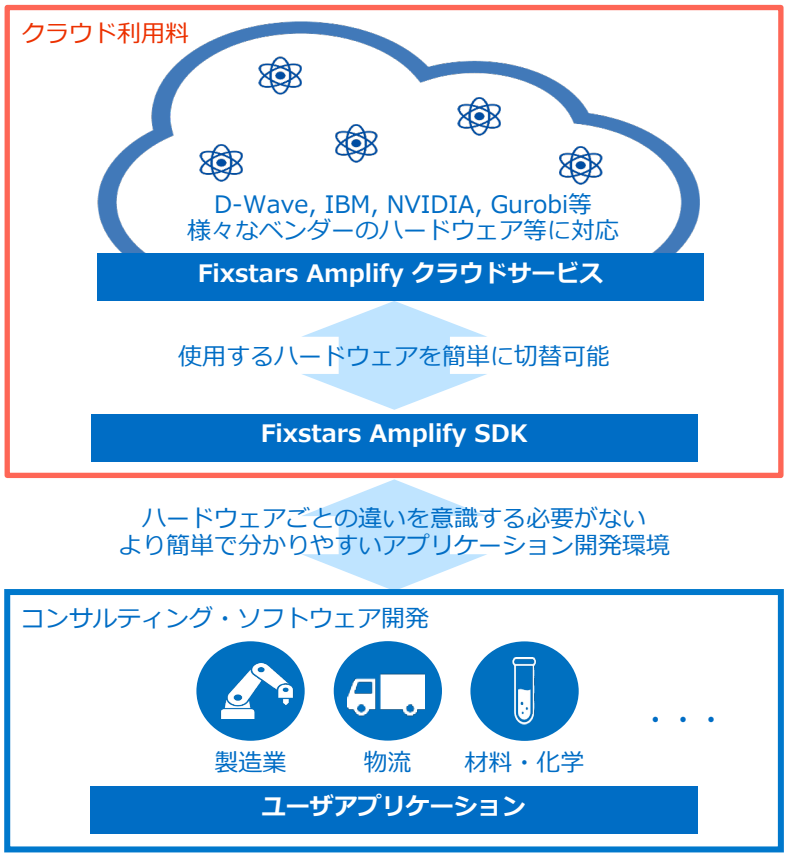
Copyright © Fixstars Corporation.

3-b Fixstars Amplify（量子インスパイアードコンピューティング）

実用化が進む「量子インスパイアードコンピューティング」

量子コンピュータの実用化に先駆け、その計算手法を従来のコンピュータに適用した「量子インスパイアード技術」を活用して、
複雑な組合せ最適化問題の解決に貢献。
問題解決のためのコンサルティング・ソフトウェア開発等（フロー収益）とクラウド利用料（ストック収益）の両面で事業を推進しています。

サービス概要



事業の状況

- ☑ 従来バージョンと比較して、軽量化・高速化および求解性能の向上を実現した「Amplify AE v1.3」「Amplify SDK v1.7」「Amplify-BBOpt v1.3」をリリース
- ☑ Amplifyのストック収益（クラウド利用料）は2Qと同水準まで回復。前四半期比約130%、前年同期比約150%の成長を達成し、再び成長軌道へ
- ☑ Fixstars Amplify SDKから利用可能な量子コンピュータとして、産総研の超伝導量子コンピュータ「システムF」を追加

今後の施策

- ☑ AIエージェントによる業務課題の数理モデリング（定式化）を自動化・効率化し、現場の最適化課題をFixstars Amplifyへ容易に取り込める環境を実現することで、量子コンピューティングの社会実装と事業拡大を加速
- ☑ Fixstars Amplifyクラウドサービスの海外展開加速に向け、海外の学会・展示会への参加を予定

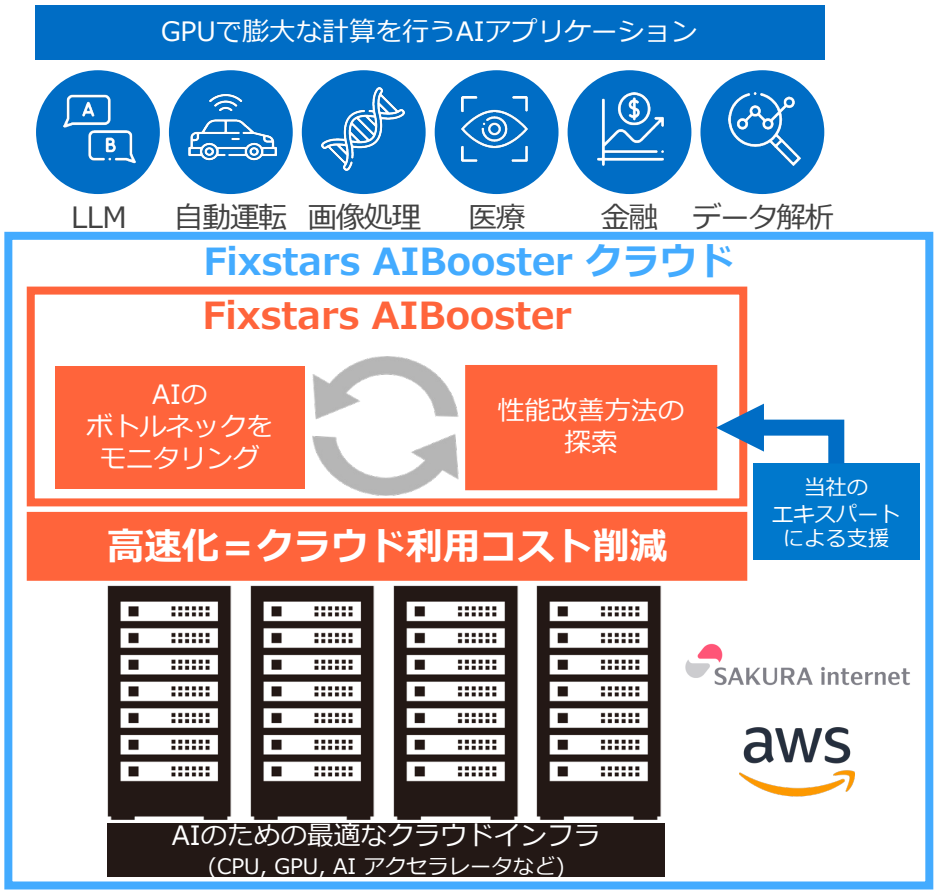
Copyright © Fixstars Corporation.

3-c Fixstars AIBooster

コスト効率の高いAI開発・運用を実現する パフォーマンスエンジニアリングプラットフォーム

AI開発・運用の現場において不可欠となっているGPU。その高い計算能力を十分に活用できていないケースは少なくありません。
Fixstars AIBoosterによってGPUをより高効率に活用することで、開発期間の短縮、運用コストの低減を実現し、顧客の製品競争力の強化に貢献します。
またAI開発・運用のためにコスト最適化されたFixstars AIBoosterクラウドを提供することで顧客のクラウド利用コストを削減します。

サービス概要



事業の状況

- ハイパーパラメータ自動最適化機能を強化したことで、AI学習における探索時間を従来比1/16に短縮し、AI学習コストを大幅に削減
- AI高速化プラットフォームとして機能強化を続け、エッジAI推論向け自律最適化機能を追加
- Fixstars AIBoosterを基盤とした独自の性能最適化エージェントおよび組み込み開発向けセキュアAIアプライアンス「Fixstars Vega」の提供を開始

今後の施策

- Fixstars AIBoosterクラウドの提供を通じて培った、AI推論の高速化・効率的な運用に関するノウハウを活用したAI推論サービス「Fixstars Inference Cloud」の認知拡大および事業拡大に向けた取り組みの推進
- パフォーマンス改善機能を中心とした製品の機能強化、活用事例の蓄積、知名度向上
- Fixstars AIBoosterの海外展開に向けた活動

Copyright © Fixstars Corporation.

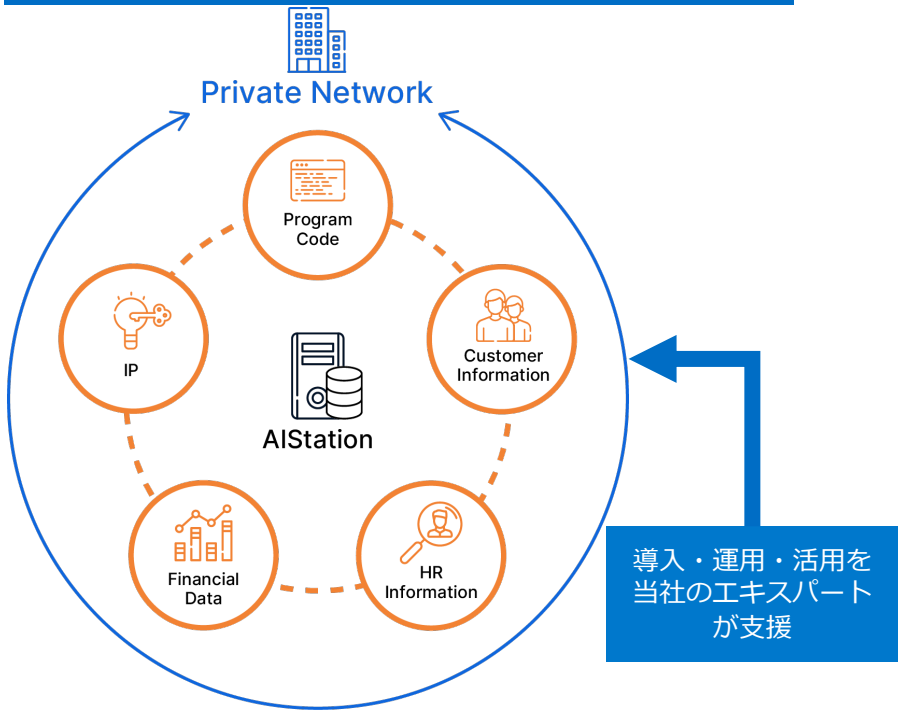
3-d Fixstars AIStation （セキュアなプライベートAI環境）

届いてすぐにローカルLLMが使えるセキュアなAIオールインワン環境

Fixstars AIStationは、AI処理をすべてローカル環境で実行するため情報漏洩のリスクを減らしつつ最新のAIモデルを活用することができます。
また検証された最新のLLM/AIモデルとアプリケーションがセットアップ済みのため、届いてすぐにセキュアAIの利用ができます。

サービス概要

セットアップ済みの専用ワークステーションをレンタルで提供
(ソフトウェア利用料・サポート費用込み)



事業の状況

- ☑ 最新のLLM/AIモデルおよび高性能GPUを搭載した「Fixstars AIStation」のレンタル提供を開始
- ☑ 機密性の高い情報を扱うユーザをターゲットに、「Fixstars AIStation」の導入に向けた活動を展開中
- ☑ GRCS社、シンカ社、HRクラウド社との業務提携において、セキュアなAI環境「Fixstars AIStation」を活用した取り組みを推進

今後の施策

- ☑ 最新の大規模オープンウェイトLLMに対応した次世代「Fixstars AIStation」の開発・リリース
- ☑ オンプレミス環境でセキュアに実行できる次世代AIエージェント（生成AI＋量子技術＋業務支援）の開発
- ☑ 検証済みAIモデルの拡充、製品の機能強化、活用事例の蓄積、知名度向上

Copyright © Fixstars Corporation.

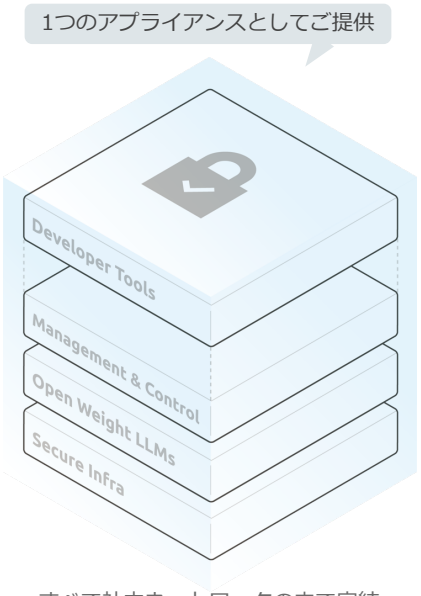
3-e Fixstars Vega （組込みソフトウェア開発向けセキュアAIアプライアンス）

組込みソフトウェア開発におけるAI活用を安全かつ効率的に実現

オンプレミス環境で機密情報を保護しながら生成AIを活用し、組込みソフトウェア開発の生産性を向上。
セキュアなAI環境の構築からAI駆動開発の導入・定着まで、当社エンジニアが一貫して支援。

サービス概要（Fixstars Vega とは）

組込み開発チームが、**コードや設計情報を外部に出さずに**
AIを活用できる「セキュアAIアプライアンス」



すべて社内ネットワークの中で完結
= 外部にデータが出ることは無い

セキュア

オンプレ環境でコードを外に出さずに
AIコーディングが可能に

最新のAIモデルが高速に

最新の高性能オープンウェイトLLMを
速く動くようにして提供

定額運用

定額だから、使うほど1回あたりの
コストが安くなる

組込み開発に最適

当社の開発ノウハウと現場の知識を
活用し、使い込むほど賢く

事業の状況

- ☑ セキュアAIアプライアンス「Fixstars Vega」の提供を開始し、企業向け生成AIソリューション事業を展開
- ☑ Solution事業の既存顧客基盤を活用したクロスセルを推進し、新たな商談の創出・案件化を拡大
- ☑ 「AI駆動開発」をテーマとしたセミナーを開催し、企業のAI活用ニーズの発掘と市場開拓を推進

今後の施策

- ☑ 自社開発のAIエージェントを統合し、セキュリティや数理最適化などの専門領域に対応するAIエージェント機能を提供
- ☑ 顧客の課題に合わせたプライベートセミナーの開催や、Fixstars Vegaのトライアル環境の提供を通じて、AIの導入から組織への定着までを支援
- ☑ Fixstars Vegaの導入成果や活用事例を蓄積・公開し、導入効果の可視化と受注拡大につなげる

Copyright © Fixstars Corporation.

3-f METIS Eye（乳がんAI画像診断支援）

乳がんAI画像診断支援事業

乳がんの超音波画像に対し、AIを用いて精密検査の要否を高速かつ高精度に判別し、医師の負担軽減を目指します。
乳がんの早期発見を支援し、がん発見後も総合的に患者さんをサポートするサービスを提供していきます。

サービス概要

複数の医療機関でサービス導入に向けた
テスト運用を実施中



AI乳がん検診 Smaopi スマオピ（当社子会社）

事業の状況

- ☑ 日本各地の医療機関における「METIS Eye」の導入を推進
- ☑ 乳がん啓発キャンペーン「Pink Action Days」を開催
- ☑ Mayo Clinicの臨床データを活用し、生成AIを基盤とする乳腺AI診断支援技術を開発

今後の施策

- ☑ 自治体のデンスブレスト通知[3]開始に向けて認知拡大を図る
- ☑ 撮像補助機能のPMDA一部変更承認取得に向けた対応を推進
- ☑ 企業・健保組合向けの営業強化
- ☑ 海外展開に向けた活動

Note: 1) e-Patient Reported Outcomes: ITを活用して、患者の症状や副作用の状況をモニターするシステム
2) Patient Support Program: 疾病やその治療に関する情報提供、多様な患者ニーズへのサポートなどを通じて、患者のQOL向上に寄与することを目的としたプログラム
3) 乳がん検診時に、乳房組織が高濃度（デンスブレスト）であることを受検者に通知する制度。デンスブレストの場合、マンモグラフィで精度は大幅に落ち、超音波検査のニーズが高まることが見込まれる。

Copyright © Fixstars Corporation.

4

補足資料②
フィックスターズについて

Copyright © Fixstars Corporation.

4-a 概要

高速化のエキスパート集団

フィックスターズは、“Speed up your AI”をコーポレートメッセージとして掲げるテクノロジーカンパニーです。
計算資源を最大限に活用するソフトウェア最適化技術を駆使し、AIモデルの推論処理と学習プロセスの両面で圧倒的な高速化を実現する、
高速化のエキスパート集団です。

概要

会社名	株式会社フィックスターズ
本社所在地	東京都港区芝浦1-1-1 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S 31階
設立	2002年8月
上場区分	東証プライム（証券コード：3687）
代表取締役社長	三木　聡
資本金	5億5,446万円（2026年9月末現在）
社員数（連結）	352名（2026年9月末現在）
主なお客様	キオクシア株式会社 株式会社ネクスティ エレクトロニクス 株式会社デンソー みずほ証券株式会社

グループ体制

株式会社フィックスターズ

- Fixstars Solutions, Inc.
  100%子会社
  米国での営業及び開発
- 株式会社Fixstars Autonomous Technologies
  株式会社ネクスティ エレクトロニクスとのJV
  自動運転向けソフトウェア開発に特化
- 株式会社Fixstars Amplify
  100%子会社
  量子コンピュータ関連のクラウド事業
- 株式会社Smart Opinion
  連結子会社
  乳がんAI画像診断支援事業
- オスカーテクノロジー株式会社
  連結子会社
  ソフトウェア自動並列化サービス
- 株式会社Fixstars Investment
  100%子会社
  ベンチャー企業への投資及び育成を行う投資事業会社

Copyright © Fixstars Corporation.

4-b 沿革

コンピュータの進歩とともに

ハードウェア技術の進化にいち早く対応し、
その性能を最大限に引き出すソフトウェア開発・高速化サービスとともに成長してきました。

年月	出来事
2002年　8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立、その後株式会社に組織変更
2004年　7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始
2008年 12月	GPU高速化サービス開始
2009年 12月	「OpenCL入門ーマルチコアCPU/GPUのための並列プログラミング」を出版
2010年 11月	米国空軍研究所に、PlayStation®3を用いた高速クラスタシステムを導入
2011年 10月	FPGA高速化サービス開始
2012年　1月	NANDフラッシュメモリ関連ソフトウェア開発サービス開始
2014年　4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2016年 11月	東京証券取引所市場第一部に市場変更
2017年　6月	量子コンピュータを手掛けるD-Wave社との協業を開始
2018年　2月	自動運転分野のさらなる拡大を目指し、ネクスティ エレクトロニクス社と合弁会社Fixstars Autonomous Technologiesを設立
2021年 10月	量子コンピューティング領域のさらなるサービス事業拡大を目指し、株式会社Fixstars Amplifyを設立
2022年　4月	東京証券取引所の市場再編に伴い、東京証券取引所プライム市場に市場変更
2025年　3月	コーポレートスローガンを「Speed up your AI」に変更

Copyright © Fixstars Corporation.

4-c フィックスターズのパーパス/コアバリュー

コンピュータの恩恵を人々に

計算機器の性能を最大限に引き出すソフトウェア高速化技術とSDK開発技術を軸に、
コンピュータの活用がより一層進むこれからの世界を支えていきます。

**フィックスターズの高効率なソフトウェアが、
クラウドとエッジの両サイドでコンピューティング基盤を支える世界の実現**

パーパス

ソフトウェアを効率的に動かすことで

- できなかった計算をできる計算にする
- コンピューティングに必要な消費電力を低減する

コアバリュー

ソフトウェア高速化技術	SDK開発技術

ハードウェア・ソフトウェア両方に対する深い理解・知見

Copyright © Fixstars Corporation.

主力事業領域

ソフトウェア高速化サービス

当社事業の根幹をなすソフトウェア高速化サービスにおいては、
ソフトウェアの最適化やアルゴリズム改良等によりコンピュータの性能を最大限に引き出すことで、大量データの高速処理を実現しています。





オリジナルソースコードのご提供

高速化したソースコード

当社

お客様

コンサルティング

- 性能評価
- ボトルネックの特定

高速化

- アルゴリズムの改良・開発
- ハードウェアへの最適化
- レポート作成

サポート

- レポートやコードへのQ&A
- 実製品への組込み支援

Copyright © Fixstars Corporation.

4-e フィックスターズのESGへの取り組み（1）

高速化技術による環境負荷低減

当社は、多様な産業分野に対する高速化ソリューションにより電力消費を大幅に抑え、
環境負荷低減に貢献しています。



多様な産業分野における高速化ソリューション

Semiconductor	・NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発 ・次世代AIチップ向け開発環境基盤の開発
Mobility[1]	・自動運転の高性能化、実用化 ・次世代パーソナルモビリティの研究開発支援
Life Science	・ゲノム解析の高速化 ・医用画像処理の高速化
Finance	・デリバティブシステムの高速化 ・HFT(アルゴリズムトレード)の高速化
Industrial	・Smart Factory化支援 ・マシンビジョンシステムの高速化

数倍～数百倍の高速化による
電力消費時間の短縮

電力消費量の大幅な削減

環境負荷低減

Note: 1) 一例として、自動運転向け画像認識処理の高速化（1車種）のみでも、2020年に約14,000トンのCO2削減が見込まれる（当社推計）

Copyright © Fixstars Corporation.

4-f フィックスターズのESGへの取り組み（2）

高速化に限らない様々な社会貢献

高速化ソリューションによる消費電力削減に加え、自動運転や医療等の様々な分野への支援により、
環境や社会の課題解決に貢献しています。

当社事業領域	社会的価値
 自動運転の高性能化、実用化 次世代パーソナルモビリティの研究開発支援	交通事故の根絶 交通弱者へのサポート
 AIによる画像診断支援	より気軽でより質の高い 診断・治療へのアクセス
 量子コンピューティングによる生産性の向上、労働の効率化	カーボンニュートラルへの貢献

Copyright © Fixstars Corporation.



Copyright © Fixstars Corporation.